

すまの張り替え、洗車作業など就労移行支援事業として取り組まれています。

三十分程施設の説明をしていただき、後は施設全体を二班にわけて見学させていただきました。

通勤寮内の規則もきつちりと守られ、基本二名一室の部屋はバストイレ付きで、清潔で広々とした共用部分が印象的でした。会員さんからもどのようにして利用できるのかなどの質問も多くされていきました。

また作業場では、自分に合った作業(職種)が選べるので、皆いきいきと楽しそうに、手際よく作業されていました。帰りにはスワンベーカーリーに寄り、皆さんたくさんパンを買われていました。スワンベーカーリーのパンは地域でもおいしいと評判でリピーターの方も多くいらつしやるそうです。店頭で選んだ焼きたてのパンと飲み物を注文できる

喫茶スペースもあり、おしゃれなオープンカフェの作りで気軽に利用でき人気があるようです。

たくさんの可能性が期待できる総合支援ゾーンを案内していただき、利用する側として、施設運営する側としても、とても勉強になりました。

七月十三日には、(株)WEST楽園(パラダイス)八尾の見学に参加しました。

こちらでは、就労移行支援三十名・就労継続支援十名を定員とし、カリキュラムとして入所六ヶ月以内は施設に通所する訓練を行い、六ヶ月から一年にかけては社会人における就労の基本の訓練を行うという形で、入所後一年以内は福祉グループが担当し福祉の専門支援員が支援されます。入所後一年を経過すると本人の適正等を判断し就労支援グループが担当し、一般企業出身の支援員が終了に向けた

支援をされます。

作業内容は、もともと自動車修理工場であった施設なので洗車・ワックスがけ・オイル交換などで、近隣の高齢者施設から依頼される車いすの洗浄や修理などの仕上がりは絶大な信用を得ているのだとか。

また特徴的なことでは丹波篠山での養豚やその飼料作り。費用がかかる飼料は、パン工場で出るパンくずやうどんなどをもらい、それに乳酸菌をかけて手作りする事でコストを抑え、その飼料作りが作業場のメインの一つとなっています。あまり費用もかからず環境的にもエコにつながり、ヨーグルト状になった飼料は豚にもやさしい天然の飼料として良質で、養豚業としても高い評価を受けているのとです。

毎日八尾から篠山まで餌やりに車で二時間かけてグループで行くのは大変ですが、最

初は生きものが怖い人や飼料の発酵臭が駄目な人も、仕事をすると姿勢の中でだんだんと慣れていく人も多いそうです。自分たちが作った飼料が自分たちの育てている豚の飼料になるという一連の流れの中で、より責任を持って作業をする皆の姿勢がまぶしく感じられました。

安定した作業量の確保により、安定的な賃金の確保を目指し、メンタル的にもより一般就労へのつながりが作られています。

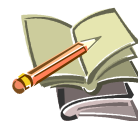
また、八尾市の果樹園の草刈にヤギを飼い、そのヤギの世話や、地元で米や野菜作りをするなど自然に触れながら体を動かし、働くことの楽しさを味わいながら、地元にも愛される事業所としての役割を担われています。

学齢期部会として今期前半此花作業所を含め三箇所の見学会を行いました。各々特色があり、興味深く見学させて

いただきました。

これらをもとに今後情報交換や意見交換などの場を持ち、より積極的な活動していく予定です。

【担当理事 小泉いと子】



知的障害のある人への

理解を深める活動

\*NTTコミュニケーション

ショーンズCSRの

取り組みとして\*

知的障害のある人への理解を深める活動として、NTTコミュニケーションショーンズさんのご協力のもとで前回の母の日に続き、今回は、父の日の前に：：ということと六月十九日に、NTT中ノ島ビルの社員食堂前で十一時から一時まで本人三名と支援者六名で二回目の自主製品の販売を行いました。二回目ということで、こち